

第6学年 家庭科学習指導案

2012. 7. 6 (金)

単元名		自分にとってよりよい朝食の取り方を考え実践しよう
指導計画 (全6時間)	つかむ	<p>①朝食をとらないと体がこわれてしまうのか ⇒生活リズムを記録したことを交流させる場を設定し、朝食をとっていない子どもがいることに焦点を当てさせ、朝食に対する関心をもたせる。</p> <p>②朝食としてバナナやバナナジュースはよいのに、なぜお茶はよくないのか ⇒毎朝「朝食をとってきたか」確認し、“みんなが”“朝食をとってくる”ことを1週間続けることを意識させる。朝食を食べていないが、起床後のどが渴くためお茶だけは飲んできたという状況を設定し、朝食が一日の活動を支える上で重要であることを意識させる。</p>
	深める	<p>③給食の献立から1食の食事を考えよう ⇒1日3食のうちの1食を担う給食は、体を動かすエネルギーを作る・体を作る・体の調子を整えるという3要素だけでなく、ミネラル・ビタミンなど意識しなければ摂取できない栄養素の補給を考えて計画されていることを知り、食事の大切さを意識させる。そのうえで、一日の活動を支える朝食はどのような組み合わせであればよいかについて課題意識をもたせる。</p> <p>④バランスを意識して1食分の朝食を計画しよう ⇒朝食には、一日をスタートするエネルギーを担うという役割があることを確認させ、各自の日頃の朝食をベースにし、バランスの整った朝食を考えていく活動を通して、栄養バランスを考えて調理や食事をする大切さを意識させる。また、家庭の協力をいただき、計画した朝食を各家庭で休日に実践させることを伝え、実践の意欲を高めさせる。</p>
	ひろげる	<p>⑤実践したことを報告し合おう (本時) ⇒計画して実践した内容と自分が日頃とっている朝食との相違に気づかせ、学んだことを日頃の自分自身の生活に生かそうとする意識を高めさせる。また、友だちの実践や保護者の方の感想を出し合うことで、朝食を自分で準備してみようという気持ちをもたせる。</p> <p>⑥家族のための食事を考えて実践しよう ⇒おうちの方を意識した1食分の食事を考えることにより、これまで学習したことを生かすとともに、相手を意識して食事を計画したり作ったりする楽しさや喜びを味わわせる。</p>
本時案	題目	実践したことを報告し合おう
	主眼	朝食の栄養のバランスを考え計画し実践したことを報告し合うことにより、朝食の組み合わせを考える大切さがわかり、日ごろから栄養のバランスを考えて朝食をとろうとする意欲を高めさせる。
	評価規準	<p>自分が実践した朝食の特徴や事後の感想を聞く人を意識して伝えることができる。(話す)</p> <p>友だちが実践した内容を聞き、自分の実践と比較しながら感想をもち記録したり発表したりすることができる。(聞く)(書く)</p>
	言語活動	自分が実践した内容・感想・おうちの方の感想を聞き手に分かるように伝えるこ